

発電機のいったん停止へ共同を!

『眠れない』『母乳でなくなった』

「米軍基地いらない京都府民の会」代表者会議

2月5日「米軍基地入らない京都府民の会」は、代表者会議を開催し、各団体・個人から31人が参加しました。

篠原真弓・京都安保破壊実行委事務局長の司会で始まった代表者

会議では、冒頭、森下総子・府民の会共同代表(新婦人京都府本部会長)が「12月26日からのリーダー運用開始で、騒音、とりわけ低周波がひどく、戸を閉めても突き抜け、里帰りしたお母さんの母乳が出なくなったり、眠れない」という日が続いている。京都に、近畿に米軍基地入らないと、腰を据えてとりくみをすすめよう」と開会のあいさつ。京都平和委員会・片岡明事務局長が「経ヶ岬の米軍基地の現状と今後について」と題して報告。辻昌秀事務局長がこれまでの経過と今後のとりくみ、会の名称・体制の変更、新署名などを提案。11人の方から発言があり、辻事務局長のまとめの後、確認し閉会しました。

日本平和委員会全国大会 (6月、奈良県で開催) を

関西のがんばりで成功させよう

「関西ブロック 学習会&意思統一・交流会」開催

2月14日、大阪市内で「地元奈良で定期全国大会を成功させるため」に、関西ブロック学習会&意思統一・交流会」が開かれ、関西6府県すべて

6人)が参加し、学習と交流、親睦を深め合いました。はじめに小林大阪平和

委員会議長が、「関西で仲間づくりを大爆発させ、前進で全国の仲間を迎えよう」と歓迎のあいさつがありました。午前中の学習では、原弘行農民組合大阪府連会長がTPPについて、午後は、片岡京都平和委員会事務局長が米軍リーダー基地の現状と今後について、最後に岩月日本平和委員会事務局次長が今年前半の取り組みと仲間づくりについての報告がありました。

その後、河内奈良平和委員事務局長が、「今国会最終盤に開催され、会の力を強める節目の全国大会を関西2000人の参加で成功させよう。自主目標を出し、そのための具体的な方針を決め、実践しよう」と、近藤大阪平和委員会理事長が、「組織は生きもの、増やさなければ減る。中央、県が目の色変えてがんばろう。」

核兵器禁止条約の交渉開始を! あなたの署名をニューヨークへ

パレンタインデーの2月14日午後、京都NPT代表派遣・署名推進委員会は、三条河原町で署名・宣伝行動を行い、NPT代表決定者をはじめ、被爆者、被爆2世など17人が参加、1時間の行動で、署名91筆、カンパ1100円が寄せられました。

この日の行動で京都の署名は13万筆を超えました。NPTまで2ヶ月余、署名をニューヨークに届ける船積み(3月10日)まで20日余、全力で署名の推進にとりくみましょう。(京都原水協通信より)



聞き捨てならないラジオニュース

舞鶴平和委員会 高橋一郎

1月19日午前6時のNHKラジオニュース：在日米軍は横須賀基地所属の原子力空母ジョージワシントンが原子力燃料棒交換のため米本国へ。そのため、同型最新鋭のロナルドレーガンを配備と広報した。横須賀市は空母搭載の原子炉による事故対策がないことに不安を発表をした。敗戦70年になるというのに外国軍隊の基地を133箇所も抱えていることを思い知らされた上、原発ノーを願う私たちの心を踏みにじるような米国政府や米軍に、改めて米軍基地国家日本の異常さに悔しい思いを感じさせられた。

書評：平和運動のための一冊

「神国日本のトンデモ決戦生活」

舞鶴平和委員会 橋本安彦

表題につられて買って見た。オモシロイ! 戦争を知らない世代にぜひ読んでほしい。(この続きは次号で)

(ちくま文庫) 2014年2月刊行 (平和新聞舞鶴版 15. 1. 26号より)

書籍(パンフレット) 紹介

米軍ヘリパッド建設にあらがう沖縄・高江の物語 やんばるからの伝言

伊佐真次/著 森住卓/写真



沖縄本島北部。数々の天然記念物や希少種が生息するやんばるの森が広がります。自然を愛しむ人びと、豊かな森とともに暮らす。そこに米軍ヘリパッドの移設計画が浮上し、生活は一変します。これ以上の基地負担には耐えられない——。ねばり強く声を上げ続ける東村高江のたたかいを、めぐりくる四季の美しさと人びとの暮らしを織り交ぜながら、詩情豊かにつづります。

■発行 新日本出版社
■発行年月 2015年2月
■定価 1,620円(本体価格1,500円)

この日の行動には、NPT代表決定者が8人参加し、「みなさんの署名は私たちが国連、ニューヨークへ届けます」

